

J Rの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

## 合理化・融合化に反対の声を

### 住民・利用者の怒りの声「京葉線ダイヤ変更」 「首都圏15駅でみどりの窓口復活」へ

#### 【京葉線ダイヤ変更概要】(5/30 発表)

- ◇内房線・外房線を直通する各駅停車4本(上下2本ずつ)を快速に変更
- ◇快速全体では平日7本増、土休日12本増

一方で3月ダイヤ改では…

- 勝浦からは通勤快速直通が2本(朝上り1本、夕下り1本)走っていたが「復活」対象の快速は上総一ノ宮止まり
  - 特急「しおさい」(総武本線)、「わかしお」(外房線)、「さざなみ」(内房線)も今ダイヤ改で削減されている
- 沿線地域の生活基盤を破壊する重大問題は未解決

#### 【みどりの窓口復活】(6/4 発表)

- 窓口全廃した川口や北朝霞など6駅は臨時窓口を設ける
- 窓口の数を減らした蒲田、登戸など9駅は混雑状況に応じて閉鎖した窓口を復活させる

#### 「異例の見直し」相次ぐ

J R千葉支社は5月30日、9月に「ダイヤ変更」を行い、京葉線の各駅停車の一部を快速に戻すと発表しました。また、6月4日の喜勢社長の記者会見では、首都圏15駅で廃止した「みどりの窓口」を繁忙期に復活させる

と発表しています。

京葉線をめぐっては3月ダイヤ改でプレス発表後に改変する前代未聞の事態となり、さらに半年後に「ダイヤ変更」という異例の対応に追い込まれました。

「みどりの窓口」を一度廃止した駅で「復活」させるのも異例の事態です。

#### 「IT企業化」路線の破たん

喜勢社長就任の冒頭から「異例の見直し」が続いています。これは喜勢社長らが主導してきた「鉄道ありきで考えるな」「IT企業化」路線の破たんです。

会社は22年に「鉄道部門4千人削減」「転籍・副業促進」を掲げ、23年には「鉄道を持つIT企業」化を打ち出しました。「地方路線も乗客も、利益が上がらないなら切り捨てて当然」と舵を切ったのです。

しかし、地域住民からの怒りの声にさらされ、軌道修正を迫られています。「IT企業化」路線、業務融合化の破たんが始まりました。地域からの怒りの声で会社の攻撃を打ち破る可能性が生まれています。その力は何より、職場からの団結した声と、闘う労働組合の力にあります。今こそ職場から声をあげよう。